



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場会社名 ケイヒン株式会社

上場取引所 東

コード番号 9312 URL <https://www.keihin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 光延

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 荒井 正俊

TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日 2023年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,881	△25.7	1,422	△29.8	1,555	△31.6	1,034	△33.3
2023年3月期第2四半期	32,159	17.5	2,028	22.0	2,273	32.4	1,550	32.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,089百万円 (△1.9%) 2023年3月期第2四半期 2,130百万円 (75.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	158.46	—
2023年3月期第2四半期	237.45	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	46,830	26,089	55.7
2023年3月期	44,437	24,456	55.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 26,089百万円 2023年3月期 24,456百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	63.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△16.4	3,100	△18.9	3,250	△17.9	2,200	△18.7	336.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	6,536,445株	2023年3月期	6,536,445株
2024年3月期2Q	7,587株	2023年3月期	7,547株
2024年3月期2Q	6,528,887株	2023年3月期2Q	6,528,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限が解除され、個人消費の回復やインバウンド需要の増加、設備投資の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調を維持した一方、資源価格高騰や円安による物価上昇、海外経済の減速が景気下振れ要因として懸念され、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループにおいては、国内物流事業は、倉庫保管・入出庫、一般貨物輸送の取扱いが減少しましたが、流通加工の取扱い増加により増収増益となり、国際物流事業は、輸出海運貨物の取扱いが増加したものの、コンテナ運賃・航空運賃の下落や、複合一貫輸送、プロジェクト貨物、輸出車両の海上輸送、航空貨物の取扱いが減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は238億8千1百万円（前年同期比82億7千7百万円の減収、25.7%減）、営業利益は14億2千2百万円（前年同期比6億5百万円の減益、29.8%減）、経常利益は15億5千5百万円（前年同期比7億1千7百万円の減益、31.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億3千4百万円（前年同期比5億1千5百万円の減益、33.3%減）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	13,027	13,511	483	3.7
国際物流事業	19,621	10,793	△8,828	△45.0
セグメント間内部売上高	△489	△422	67	—
合計	32,159	23,881	△8,277	△25.7

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、保管・入出庫の取扱いは減少しましたが、営業力強化と事業の効率化に努めた結果、売上高は38億8千9百万円（前年同期比3.3%増）、流通加工業は取扱いが増加し、売上高は34億5千4百万円（前年同期比23.3%増）、陸上運送業は、一般貨物輸送の取扱いが減少し、売上高は57億2千4百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は135億1千1百万円（前年同期比4億8千3百万円の増収、3.7%増）、営業利益は15億1百万円（前年同期比1億5千4百万円の増益、11.5%増）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、複合一貫輸送、プロジェクト貨物、輸出車両の海上輸送の取扱いが減少し、売上高は92億3千万円（前年同期比47.4%減）、航空運送取扱業は、輸出入ともに取扱いが減少し、売上高は5億2千4百万円（前年同期比50.5%減）、港湾作業は、船内荷役、沿岸荷役とも減少しましたが、港湾荷役が増加したことにより、売上高は10億3千8百万円（前年同期比1.9%増）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は107億9千3百万円（前年同期比88億2千8百万円の減収、45.0%減）、営業利益は7億4千5百万円（前年同期比7億8千1百万円の減益、51.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して23億9千2百万円増加し468億3千万円となりました。この要因は、主に現金及び預金の増加等により流動資産が9億3百万円増加したことや、投資有価証券や建設仮勘定の増加等により固定資産が14億8千9百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比較して7億6千万円増加し207億4千1百万円となりました。この要因は、借入金の減少等により流動負債が4億8千6百万円減少したものの、資産除去債務の計上等により固定負債が12億4千7百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、その他の包括利益累計額及び利益剰余金の増加により、前連結会計年度末と比較して16億3千2百万円増加し260億8千9百万円となりました。

純資産の増加及び借入金の減少により、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.0%から55.7%へ改善し、借入金依存度は、前連結会計年度末の20.3%から17.9%へ低下しました。

決算年月	2022年9月	2023年3月	2023年9月
自己資本比率 (%)	54.2	55.0	55.7
借入金依存度 (%)	20.2	20.3	17.9

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

借入金依存度：借入金残高（社債含む）／総資産

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益15億3千5百万円、減価償却費による資金留保8億2千5百万円等により、21億2千9百万円の収入となりました。前年同四半期（28億6百万円の収入）との比較では、税金等調整前四半期純利益が減少したこと等により、6億7千6百万円の収入の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資5億6千7百万円、定期預金の預入による支出8千4百万円等により、6億5千7百万円の支出となりました。前年同四半期（5億6千万円の支出）との比較では、9千6百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により12億1千1百万円の支出となりました。前年同四半期（14億2千9百万円の支出）との比較では、2億1千7百万円の支出の減少となりました。

これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（1億4千3百万円の増加）を加え、全体では4億4百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、91億4千8百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年5月11日公表の予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,310	9,847
受取手形及び営業未収金	4,221	4,625
電子記録債権	221	216
その他	1,254	1,223
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	15,003	15,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,664	48,857
減価償却累計額	△36,187	△36,677
建物及び構築物（純額）	12,476	12,179
機械装置及び運搬具	3,070	3,073
減価償却累計額	△2,502	△2,568
機械装置及び運搬具（純額）	568	504
工具、器具及び備品	2,214	2,265
減価償却累計額	△1,929	△1,978
工具、器具及び備品（純額）	285	286
土地	6,809	6,809
リース資産	1,364	1,279
減価償却累計額	△758	△718
リース資産（純額）	605	561
建設仮勘定	980	1,711
有形固定資産合計	21,725	22,053
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	341	319
無形固定資産合計	1,318	1,296
投資その他の資産		
投資有価証券	5,440	6,615
繰延税金資産	200	197
その他	765	781
貸倒引当金	△35	△40
投資その他の資産合計	6,370	7,553
固定資産合計	29,414	30,903
繰延資産		
社債発行費	19	20
繰延資産合計	19	20
資産合計	44,437	46,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,940	3,402
短期借入金	3,720	3,336
1年内償還予定の社債	1,260	840
リース債務	214	192
未払法人税等	694	515
その他	1,647	1,703
流動負債合計	10,476	9,989
固定負債		
社債	1,100	1,240
長期借入金	2,919	2,951
リース債務	452	427
繰延税金負債	143	471
役員退職慰労引当金	989	1,024
退職給付に係る負債	2,550	2,549
長期前受金	966	966
資産除去債務	—	738
その他	381	381
固定負債合計	9,504	10,751
負債合計	19,981	20,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	13,571	14,149
自己株式	△14	△14
株主資本合計	23,349	23,926
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,064	1,866
為替換算調整勘定	57	301
退職給付に係る調整累計額	△13	△4
その他の包括利益累計額合計	1,107	2,162
純資産合計	24,456	26,089
負債純資産合計	44,437	46,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,159	23,881
売上原価	29,095	21,424
売上総利益	3,063	2,457
一般管理費	1,035	1,034
営業利益	2,028	1,422
営業外収益		
受取利息及び配当金	124	145
為替差益	142	25
その他	38	13
営業外収益合計	305	183
営業外費用		
支払利息	37	32
その他	21	17
営業外費用合計	59	50
経常利益	2,273	1,555
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産処分損	5	23
特別損失合計	5	23
税金等調整前四半期純利益	2,267	1,535
法人税、住民税及び事業税	697	491
法人税等調整額	20	9
法人税等合計	717	500
四半期純利益	1,550	1,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,550	1,034



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,550	1,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	258	801
為替換算調整勘定	312	244
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	580	1,055
四半期包括利益	2,130	2,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,130	2,089
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,267	1,535
減価償却費	827	825
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2
固定資産処分損益 (△は益)	5	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	55	△1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△116	35
受取利息及び受取配当金	△124	△145
支払利息	37	32
売上債権の増減額 (△は増加)	89	△398
仕入債務の増減額 (△は減少)	310	462
その他	87	289
小計	3,444	2,659
利息及び配当金の受取額	118	139
利息の支払額	△35	△33
法人税等の支払額	△765	△662
法人税等の還付額	44	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,806	2,129
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△46	—
投資有価証券の売却による収入	—	27
定期預金の預入による支出	△1	△84
固定資産の取得による支出	△488	△567
貸付けによる支出	△31	△1
貸付金の回収による収入	0	0
投融資による支出	△6	△32
投融資の回収による収入	14	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△560	△657
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70	△283
リース債務の返済による支出	△120	△117
長期借入れによる収入	60	700
長期借入金の返済による支出	△792	△768
社債の発行による収入	—	393
社債の償還による支出	△180	△680
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△325	△456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,429	△1,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	988	404
現金及び現金同等物の期首残高	6,628	8,743
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,616	9,148

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,588	19,570	32,159	—	32,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	439	50	489	△489	—
計	13,027	19,621	32,649	△489	32,159
セグメント利益	1,347	1,527	2,874	△846	2,028

(注) 1 セグメント利益の調整額△846百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△845百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,145	10,736	23,881	—	23,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	365	57	422	△422	—
計	13,511	10,793	24,304	△422	23,881
セグメント利益	1,501	745	2,247	△824	1,422

(注) 1 セグメント利益の調整額△824百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△818百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。